

「千葉市中央区 80・50を考える会」

令和7年度 活動報告会

令和8年2月14日

加藤 聡子

8050問題とは

80代の高齢の親と、50代の働いていない子どもが
外になかなか助けを求められないまま過ごし、
親が介護状態になったり、亡くなったりした後に、
子どもが生活できなくなる問題

このような状況の方を中央区から一人でも減らしたい！

→中央区80・50問題を考える会を立ち上げました

事業概要

8050問題を抱えるご家庭に対して、
支援を受けることで、社会参加できるということを知って頂き、
社会参加へ一歩踏み出していけるよう支援する

- 1) 社会参加へ一歩踏み出すための事例集づくり（WEB媒体含む）
- 2) 啓発活動（講演会、勉強会等）

事業内容

- 1) 毎月会議を行い、事例集づくりについて話し合う
- 2) 講演会・勉強会の企画
- 3) 当事者団体を対象にした地域勉強会

付帯条件

- 1) 前回事業との違いを明確化するとともに、今回の事業目的に主眼をおいた事業内容とすること
- 2) 当事者目線に立った視点で、事業に取り組むこと

実績報告

事例集（簡易版）

※配布資料参照

千葉市8050事例集 （簡易版）

この事例集は、あまり医療や福祉のことを知らない方でもわかるように、簡易版として作成しました

より多くの事例や支援の詳細が知りたいという方は、以下の二次元コードよりアクセスして頂けるとご覧になることができます



千葉市中央区地域活性化事業
千葉市中央区80・50を考える会

10年以上ひきこもっていた 知的障害のある女性が 通所を開始したケース

事例) 1

プロフィール

50代の知的障害の女性Aさん。
家族は80代の父と母。
10年前に通っていた仕事を辞めて
しまってから、家にいてどこへも行
かない生活でした。
母と父が親亡き後のことについて、
悩んでいました。

①母からの相談

母がケアマネジャーに相談。

ケアマネジャーから障害者基幹相
談支援センターに連絡が入りまし
た。

②障害者基幹相談支援センターの 職員訪問

ご本人は会話はできなかったが、穏やかで、
訪問を快く受けてくれました。

③人と関わることの練習

障害者基幹相談支援センター職員と一緒に散歩に行ってみることに。
散歩の途中で、たまたま就労継続支援B型事業所の前を通ったので、
「今度、ここの見学に来てみないか」と誘ってみると、OKして下さいました。

※就労継続支援B型事業所とは、一般の企業での就労が
難しい障害者が、サポートを受けながら働く場所です

④就労継続支援B型事業所の見学

事業所の見学をしたところ、「いいところだね」
との言葉があったので、通所の手続きをしてい
くこととなりました。

Aさんのその後

当初は通所を渋る様子もありましたが、初めはお昼ご飯を
食べるだけにし、その後、30分の作業から始め、半日、1日
と延ばし、今は週1回通っています。今後、通所に慣れていっ
たら、グループホームなど考えていこうと思います。

事例集（詳細版）

※配布資料参照

千葉市中央区8050事例集

千葉市中央区 80・50 を考える会

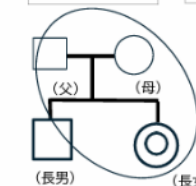
令和7年10月

【事例1】10年以上ひきこもっていた知的障害の女性が、通所を開始したケース

キーワード	50の支援、知的障害
対応センター	障害者基幹相談支援センター
関係者	居宅介護支援事業所、障害者基幹相談支援センター
相談者	両親のケアマネジャー（居宅介護支援専門員）より
世帯構成	父（80代）母（80代）長女（50代）／別世帯に長男
経済状況	父の年金、長女の障害年金

居宅介護支援事業所（ケアマネジャー） → 障害者基幹相談支援センター → 相談支援専門員・就労継続支援B型事業所（計画相談）

ケアマネジャーが発見 → ひきこもりの長女に会う → 福祉サービスを受けながら現在は親元で生活



発見した頃の状況

両親が今後のことを考えて、ケアマネジャーに相談したのがきっかけ。過去に職場でうまくいかなかったことで、外へ出るきっかけがないまま今日に至っていた。

【それぞれの特徴】

- ・長女：療育手帳（B1）。過去に福祉サービスを使ったことがあるが、やめて以来、ひきこもっている。
- ・両親：どちらも介護が必要な状況ではないが、デイサービスに通所中。長女がいるために、必ずどちらかは家におり、長時間の利用はできていない。
- ・長男：結婚し別所帯を構えている。

■ ケアマネジャーが担当している80から相談を受ける

【発見】

ケアマネジャーが、両親から長女の親亡き後のことを心配していると相談を受けた。長女には幼少期から保険をかけており、自分たちが亡き後のお金の心配はない。しかし、長女の世話をどうしたらいいかを心配している。長女は高校卒業後、美容の専門学校へ行ったが、卒業後は飲食店で就労。体調不良により退職し、就労継続支援B型事業所（※）に行ったが、そこで嫌な思いをしてから、人と会わなくなり、外へも出なくなってしまう、20年が経過した。

■ 障害者基幹相談支援センターの支援へ

【つながり】ケアマネジャー → 障害者基幹相談支援センター

ケアマネジャーから障害者基幹相談支援センターへケースの相談をし、後日、一緒に自宅訪問をした。

主催:千葉市中央区80・50を考える会(中央区地域活性化事業)
共催:千葉市/千葉県社会福祉士会

8050問題を考える

映画上映会 & 座談会

よ
か
っ
た
か
?

ど
う
す
れ
ば

12:30~

受付開始

13:00~14:50

映画上映

『どうすればよかったか?』

14:50~15:05

休憩

15:05~16:15

座談会

『今、地域でなにができるか』

16:20~16:50

個別相談会

映画鑑賞料金

1,000円

高校生以下、及び障害者手帳
を持参の方は無料



言いたくない 家族のこと

祖父母が亡くなった後、孫は家族の秘密を知り、彼らを救うために

父と母は互いに命を懸けて、彼らを救うために

(C) 2024 動画工房 ぞうしま

2025年10月11日(土)

12:30~17:00

会場/千葉市ハーモニープラザ

3F ハーモニーホール

(千葉市中央区千葉寺町1208-2)



●事前参加申込方法●

二次元バーコード①映画鑑賞から希望・②座談会、個別相談会のみ
のどちらか、または裏面の申込書をご記入の上、FAXにてお願いし
ます。【事前〆切】10月3日(金)



・映画鑑賞希望の方は①のバーコードより申してください。
・座席に限りがある為、なるべく事前の予約をお願い致します。(座席は先着順にご案内します。指定はできません)
・予約なく当日来場いただいた方は、空きがある場合のみのご案内となりますのでご了承ください。
・座談会、個別相談会のみの方は②のバーコードより申してください。入場料はかかりません。

映画上映会 & 座談会(10月11日)

- 1)映画上映
『どうすればよかったか?』
- 2)座談会
『今、地域でなにができるか』
- 3)個別相談会

映画会報告



◆参加人数 123人



◆個別相談

中央区障害者基幹相談支援センター4人

当事者の方への取り組み

1) 事例集を届ける

- ・映画会を実施し、事例集を配布
- ・千葉市自閉症協会、千葉市手をつなぐ育成会、千家連の事務局へ送付
- ・各センターから当事者への配布

（自閉症協会の総会、中央区実践事例報告会での発表を行い、事例集を配布。）

2) 毎月、精神障害者の母の会を実施

3) 千家連（千葉市精神障害者家族会連合）意見交換会参加

当事者会との関りの中で見えてきたこと

1) 会員の高齢化により、運営が難しくなっている

→共同での勉強会の開催の必要性

2) 親の意識と支援者の意識の違い

支援者：なんとか支援につなぎたい

家族：まだ向き合うことがつらい家族もいる

本人が精神的に穏やかに暮らすためにどうしたらいいか

千葉市ひきこもり推定人数(15～64歳)

千葉市のひきこもり推定人口（試算）

令和8年1月1日時点・こども家庭庁調査に基づく推計



※本数値は、千葉市の総人口に対し、こども家庭庁調査の出現率（約2%）を一律に適用して算出した概算値（試算）です。
地域ごとの年齢構成や実態を個別に反映したものではありません。

精神障害 手帳所持者推定数 (40～64歳)

千葉市 各区別 精神障害者手帳所持者数 (18歳以上実数・40-64歳推計)



行政区	① 18歳以上 手帳所持者数(実数)	② 40-64歳 推計所持者数
中央区	3,177	1,025
花見川区	2,246	847
若葉区	2,315	694
稲毛区	2,080	752
美浜区	1,625	801
緑区	1,603	636
全市合計	13,046	4,755

推計方法：令和6年3月末時点の各区年齢別人口（40-64歳）に対し、全市平均の手帳所持率 1.354% を乗じて算出。
出典：資料3-1「手帳所持者数（R7.3.31現在）」、資料8-5「人口ピラミッド（令和6年）」、千葉市「推計人口と障害者手帳所持者数の推移（令和6年度）」

ひきこもり推定人数と手帳所持者推定人数

対象：千葉市中央区 40歳～64歳人口 | 母数人口 約75,750人（2025年推計）

ひきこもり推定数（出現率 2.0%）



約**1,515人**

潜在的な支援対象（行政接点が希薄な層）

精神障害者保健福祉手帳 所持者推計
（所持率 1.354%）



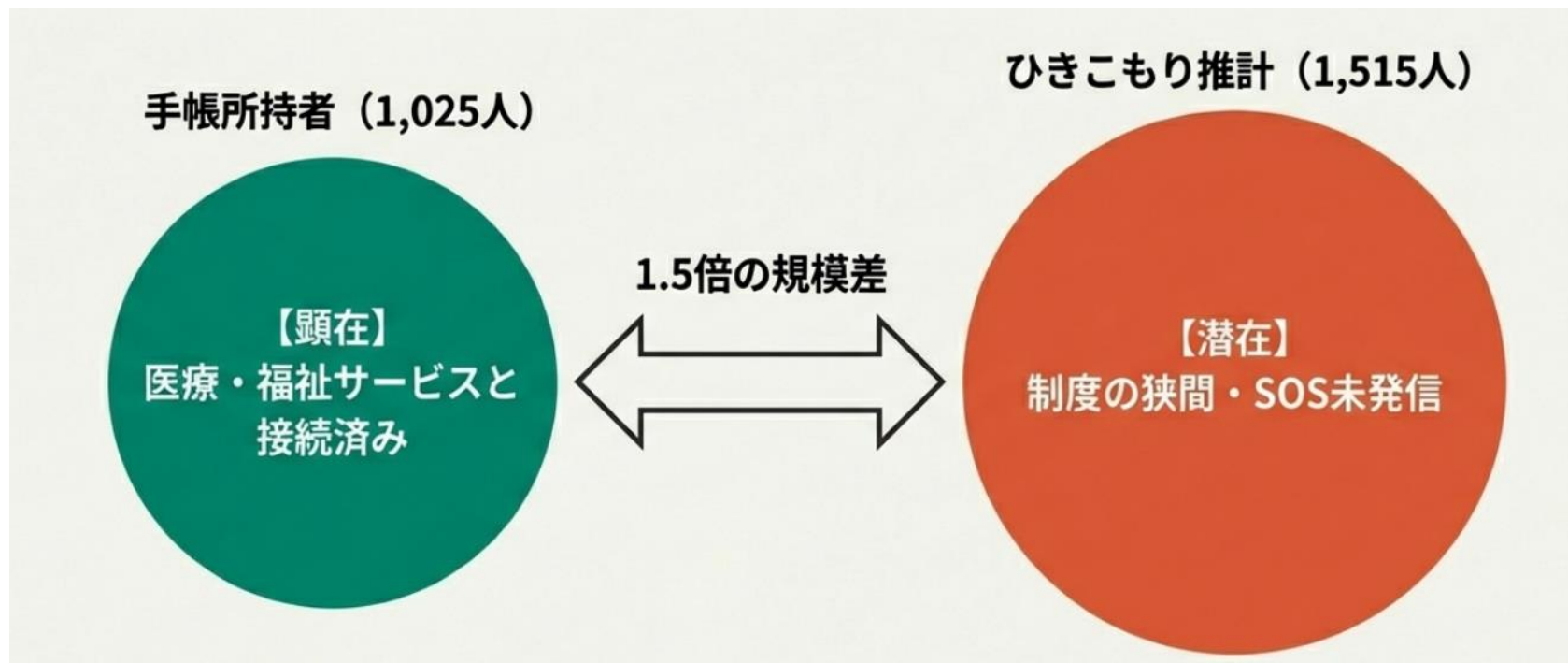
約**1,025人**

顕在化している支援対象（行政サービス受給者）

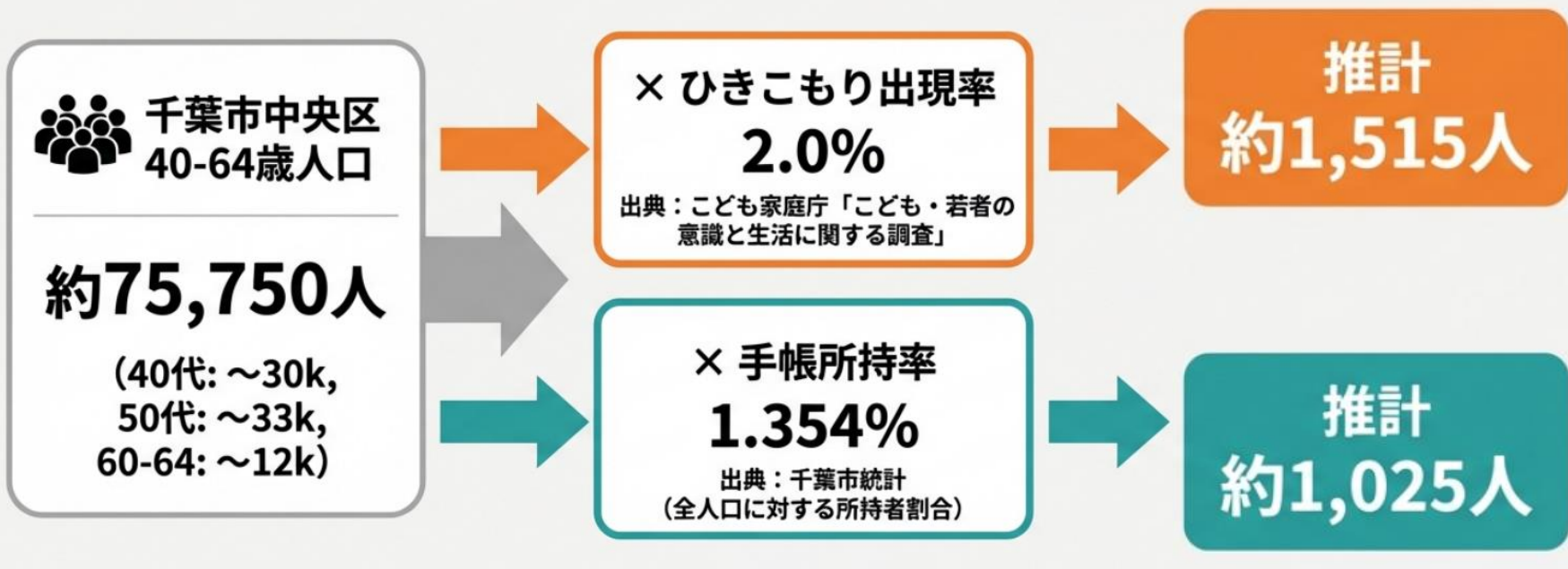
参考：行政区別推計比較（40-64歳）

区名	ひきこもり推計	手帳所持推計	稲毛区	美浜区	若葉区	緑区
中央区	1,515人	1,025人	1,070人	1,050人	980人	850人
花見川区	1,180人	800人	720人	710人	660人	580人
			720人	710人	580人	580人

潜在的なニーズがまだある



推計の根拠と算出ロジック



※ 本数値は千葉市全体の一律の出現率を中央区の人口構成に当てはめた試算値であり、実態調査に基づく実数ではありません。

来年度の活動予定

- 1) 事例集の増刷
- 2) 当事者会との合同勉強会
- 3) 8050問題のパンフレット

(※可能であれば、当事者の方のイラストを採用したい)

ご清聴ありがとうございました